



平成26年7月30日  
鉄道局安全監理官室

鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成25年度）の公表について

鉄道事業法第19条の3及び軌道法第26条の規定に基づき、「鉄軌道輸送の安全にかかわる情報（平成25年度）」を取りまとめ、本日公表しましたのでお知らせします。

その概要は、添付資料のとおりです。

本文については、国土交通省鉄道局ホームページをご参照ください。

[http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo\\_fr8\\_000019.html](http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_fr8_000019.html)

【連絡先】

国土交通省鉄道局安全監理官室

担当 竹島・渡邊

代表 03-5253-8111（内40765）

直通 03-5253-8548

FAX 03-5253-1634

## 鉄軌道輸送の安全にかかわる情報(平成25年度)

## 〔概要版〕

## 1. 運転事故

○平成25年度に発生した運転事故は、件数が785件で対前年度26件(3.2%)減、死亡者数が274人で同21人(7.1%)減でした。(表1参照)

○乗客の死亡事故は、ありませんでした。

表1：運転事故の件数及び死傷者数(平成25年度)

|                                 | 件数 (対前年度)   | 死亡者数 (対前年度) | 負傷者数 (対前年度) |
|---------------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 列車事故 <sup>※1</sup>              | 17件 (△5件)   | 0人 (±0人)    | 99人 (+10人)  |
| 踏切事故 <sup>※2</sup>              | 287件 (△8件)  | 91人 (△30人)  | 103人 (+4人)  |
| うち踏切障害に伴う<br>列車事故 <sup>※3</sup> | 2件 (+1件)    | 0人 (±0人)    | 8人 (△10人)   |
| 道路障害事故                          | 55件 (△7件)   | 0人 (△2人)    | 17人 (△4人)   |
| 人身障害事故                          | 420件 (△9件)  | 183人 (+11人) | 242人 (△18人) |
| うちホームでの<br>人身障害事故               | 220件 (△3件)  | 30人 (+6人)   | 192人 (△7人)  |
| 物損事故                            | 8件 (+4件)    |             |             |
| 合計                              | 785件 (△26件) | 274人 (△21人) | 453人 (+2人)  |

※1 「列車事故」は、列車衝突事故(軌道における車両衝突事故を含む。)、列車脱線事故(軌道における車両脱線事故を含む。 )及び列車火災事故(軌道における車両火災事故を含む。)をいいます。

※2 「踏切事故」は、踏切障害に伴う列車事故と踏切障害事故の総称です。

※3 「踏切障害に伴う列車事故」の件数等は、踏切事故の内数であり、列車事故にも重複して計上されています。合計の件数等は、この重複を除いたものです。

図1：運転事故の種類別の件数及び死傷者数(平成25年度)

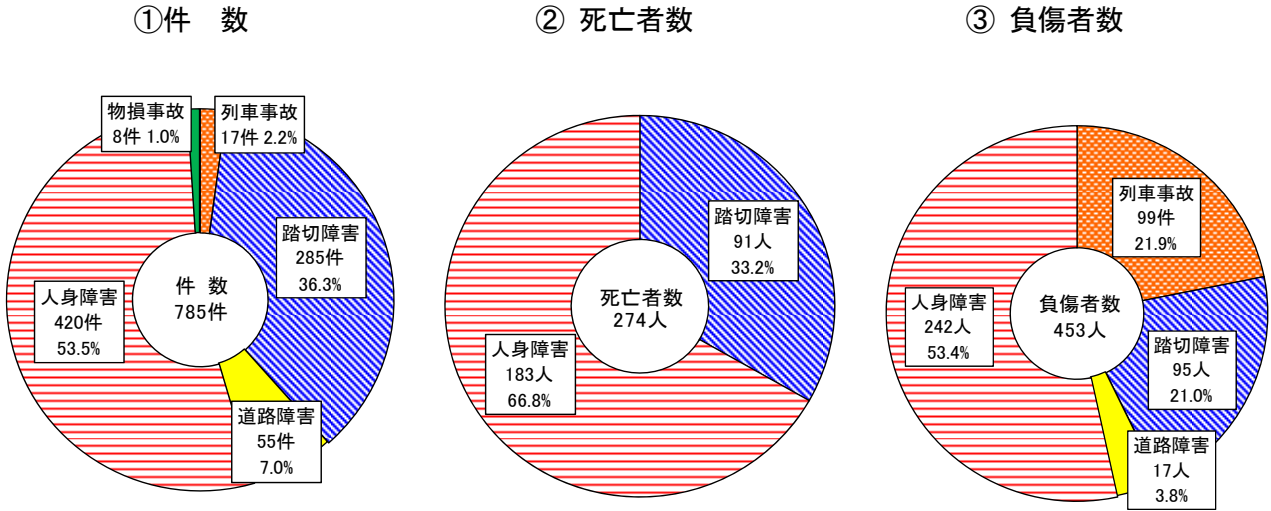
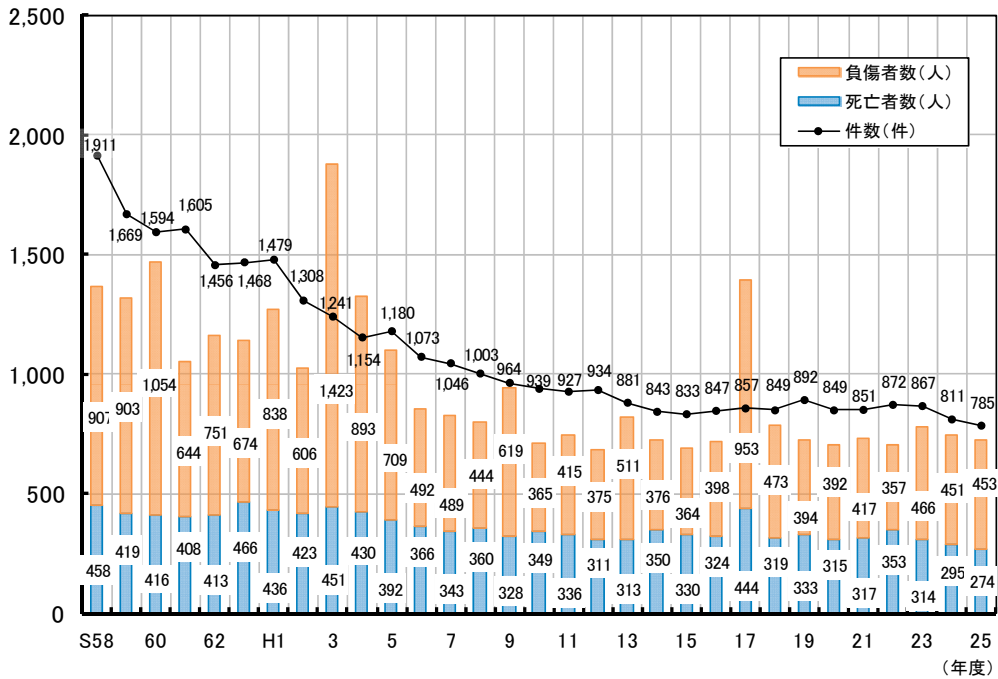


図2：運転事故の件数及び死傷者数の推移



## 2. 踏切事故

- 平成25年度に発生した踏切事故は、件数が287件で対前年度8件(2.7%)減、死亡者数が91人で同30人(24.8%)減でした。(表1参照)
- 自動車等の直前横断による踏切障害事故は、件数が140件で対前年度3件(2.1%)減、死亡者が61人で同26人(29.9%)減となっています。
- 踏切遮断機の整備、踏切支障報知装置の整備等を推進する他、自動車が踏切道から出る前に遮断機が閉じたときにはそのまま進行し遮断機を自動車で押し上げて脱出できることの周知を図るなど、今後も事故防止を図っていきます。

図3: 踏切事故の件数及び死傷者数の推移

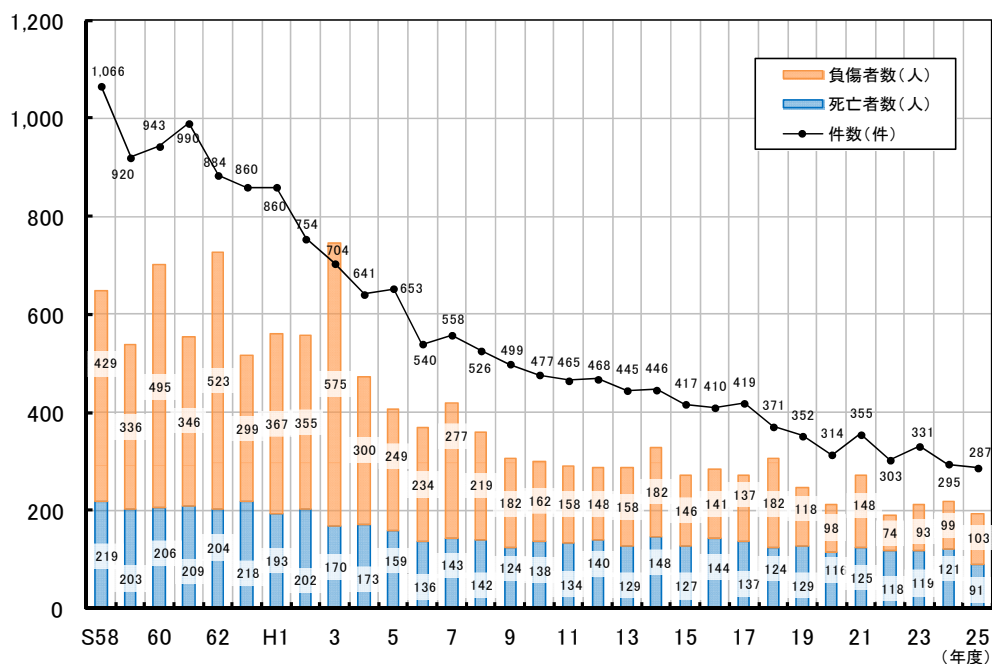
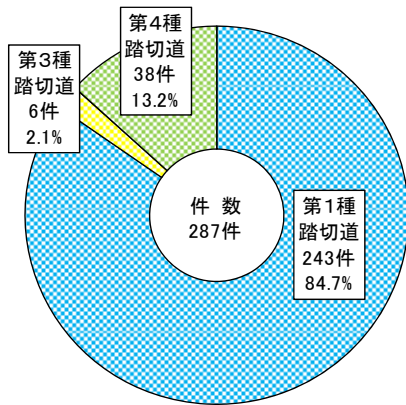
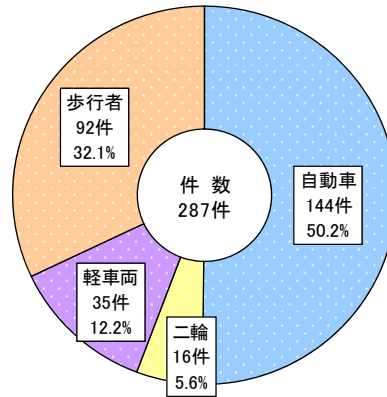


図4 踏切事故の発生状況(平成25年度)

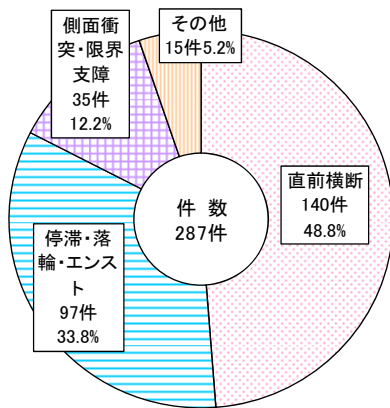
①踏切種別別



②衝撃物別



③原因別



### 3. 人身障害事故

- 平成25年度に発生した人身障害事故は、件数が420件で対前年度9件(2.1%)減、死亡者数が183人で同11人(6.4%)増でした。(表1参照)
- 線路内立入り等での接触による人身障害事故は、件数が189件で対前年度4件(2.1%)減、死亡者が153人で同8人(5.5%)増となっています。
- 「ホームから転落して接触」と「ホーム上で接触」を合わせた「ホームでの接触」による人身障害事故は、件数が220件で対前年度3件(1.3%)減、死亡者数が30人で同6人(25.0%)増でした。
- ホームの安全対策としてホームドア等の整備や、「プラットホーム事故ゼロ運動」等により、今後も事故防止を図っていきます。

図5: 人身障害事故の件数及び死傷者数の推移

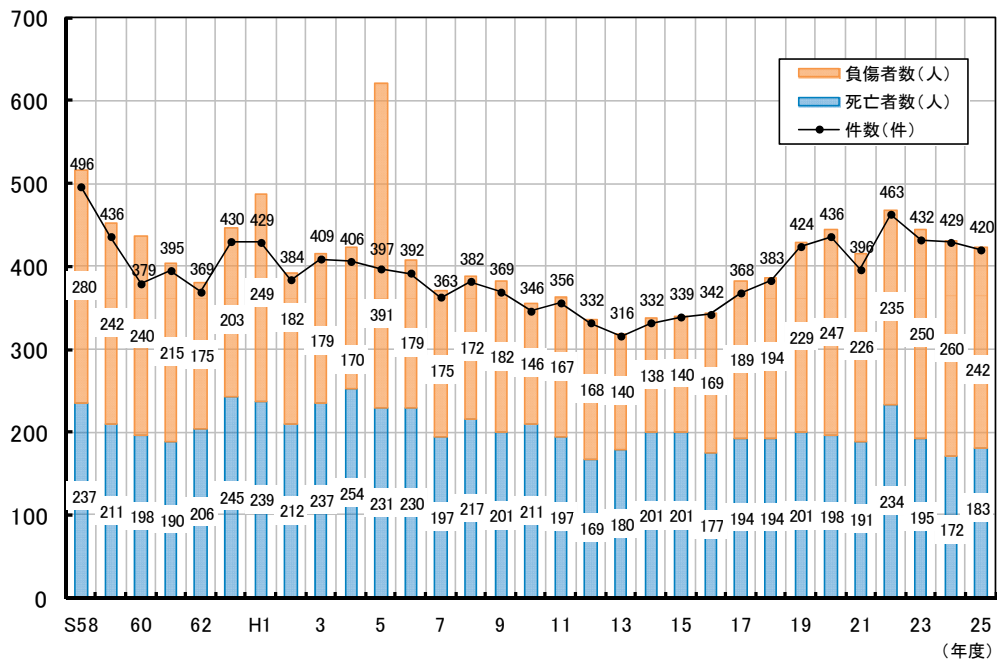


図6：人身障害事故の原因等別の件数及び死傷者数(平成25年度)

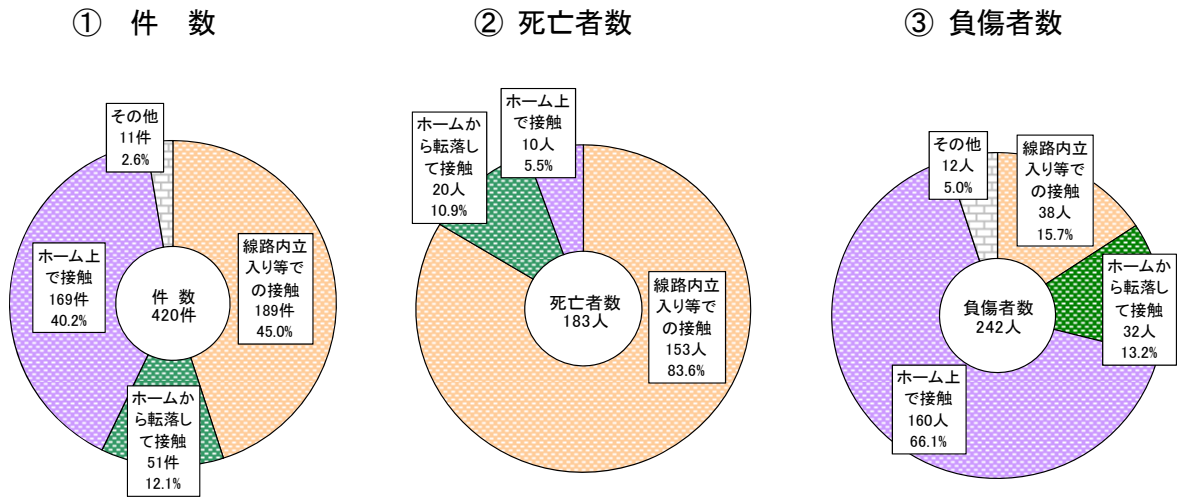
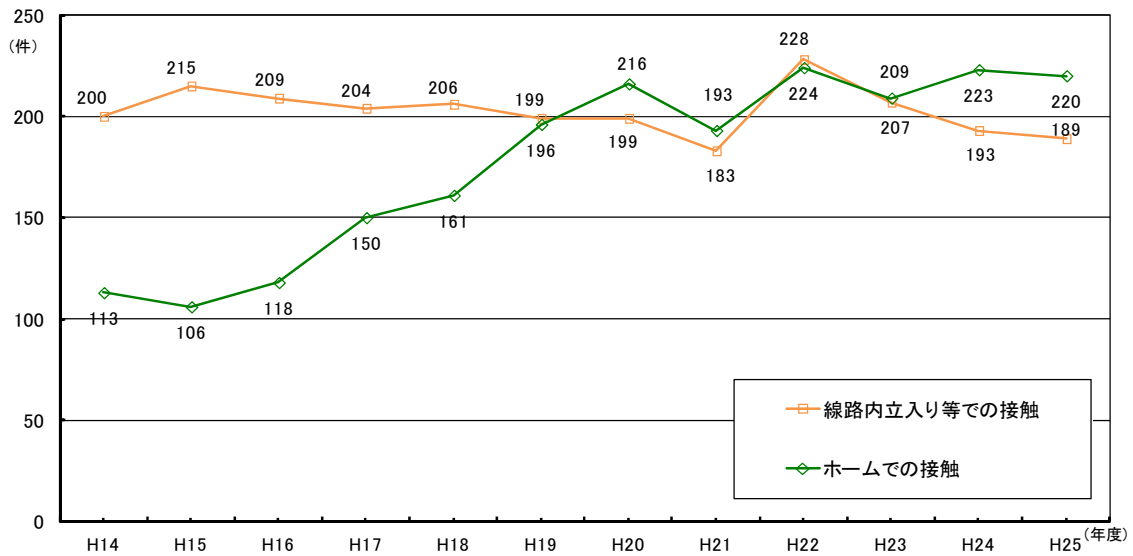


図7：ホーム等における人身障害事故件数の推移



## 4. 輸送障害

- 平成25年度に発生した輸送障害(列車の運休、旅客列車の30分以上の遅延等)は5,324件で対前年度559件(9.5%)減でした。(図8参照)
- 鉄道係員、車両又は鉄道施設に起因する輸送障害(部内原因)は、1,560件(29.3%)で対前年度78件(4.8%)減でした。このうち、鉄道係員に起因するものが295件で同32件(12.2%)増、車両に起因するものが839件で同78件(8.5%)減、施設に起因するものが425件で同33件(7.2%)減でした。
- 線路内立入り等による輸送障害(部外原因)は、2,036件(38.2%)で対前年度195件(8.7%)減でした。このうち、自殺によるものは、599件で同32件(5.1%)減、動物によるものは465件で同49件(9.5%)減でした。
- 風水害、雪害、地震等の自然災害による輸送障害(自然災害)は、1,728件(32.5%)で対前年度286件(14.2%)減でした。なかでも、風水害によるものが859件で同229件(21.0%)減、雪害によるものが334件で同30件(9.9%)増、地震によるものが56件で同6件(9.7%)減でした。

図8：輸送障害件数の推移

